

「性的マイノリティ」とは

「性的少数者」と呼ばれることもあります。

▶からだの性とこころの性(性自認)が異なる人、同性(あるいは両性)を好きになる人、自分の性を男女どちらとも認識しない人などのことを、性的マイノリティと呼ぶことがあります。

▶代表的な性的マイノリティの頭文字をとって、「LGBT」と呼ばれることもあります。

好きになる性

L レズビアン Lesbian 性的指向が同性に向く女性

G ゲイ Gay 性的指向が同性に向く男性

B バイセクシュアル Bisexual 性的指向が異性にも同性にも向く人

性自認

T トランスジェンダー Transgender からだの性とこころの性(性自認)に不一致を感じる人

LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を持たない人、自分のこころの中に男女両方の性がある人、揺らいでいる自分の性を大切にしている人など、様々な人がいます。

性的マイノリティの人の割合は、左利きの人の割合とほぼ同じ **10人に1人**とされています。

市の取組

パートナーシップ宣誓制度

お互いを人生のパートナーとして、協力し合いながら、継続的に日常生活を共にしていくことを宣誓した性的マイノリティの方とそのパートナーの方に対して、相模原市が「パートナーシップ宣誓書受領証」及び「パートナーシップ宣誓書受領証カード」を交付する制度です。

▶詳細は、市ホームページをご覧ください。



相模原市職員ガイドライン

市職員等が性的マイノリティの方に対する正しい理解のもと、状況に応じた適切な対応ができるよう、性の多様性に関する基礎知識のほか、場面ごとの適切な対応や考え方、対応事例等を紹介しています。

▶ガイドラインの内容は、市ホームページをご覧ください。



性的指向や性自認に関する悩み等の相談窓口

市や神奈川県、NPO法人の相談窓口を紹介しています。

▶詳細は、市ホームページをご覧ください。



発行 相模原市
編集 相模原市 市民局 人権・男女共同参画課
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
TEL 042-769-8205(直通) FAX 042-754-7990
協力 からふるテラス
第1刷 令和3年3月

※このリーフレットは、人権啓発活動地方委託費を活用して作成しています。

もっと知ってほしい。 多様な性のあり方のこと。

「自分自身の性」ってなんだろう。
どんな風に認識していてもいい。
迷いがあってもいい。
「スキ」ってなんだろう。
どんな人を好きになってもいい。
誰も好きにならなくても、それでいい。

「多様な性」とは

「性」は「男性」「女性」だけじゃない。

- ▶次の4つの要素から考えると理解しやすくなります。
- ▶4つは独立した要素で、どれかひとつが決まれば他が決まるものではなく、組み合わせも様々です。

からだの性

- 身体的特徴から判断される生物学的な性別
- 多くの場合は戸籍上の性別と一致しますが、一致しない場合もあります。

こころの性(性自認)

- ♥自分で認識している自分自身の性
- ♥必ずしも「からだの性」と一致しているわけではありません。

好きになる性(性的指向)

- 👤恋愛感情や性的な関心をもつ相手の性
- 👤異性／同性に向く、相手の性は関係ない、誰にも関心が向かないなど、様々です。

表現する性

- 言葉遣い、しぐさ、服装など個人が表現する性
- 必ずしも「こころの性(性自認)」を体現しているわけではありません。

～「こころの性(性自認)」という表現について～

自分の性別を、「男性」「女性」「どちらでもない」「どちらでもある」「中間である」「変化する」など、どのように感じているかを「性自認」と言います。
『性自認』のことを『こころの性』と表現することについては、「こころに性別はない」「こころの中まで性別二元論を持ち込みたくない」など、様々な捉え方があります。

知らずに傷つけているかも

性的マイノリティの人は、自分自身の性のあり方への違和感や葛藤、周囲の理解不足や身近にはいない人たちという前提で扱われることで、不安や孤立感を感じていることが多くあります。

自分は異常なのではないか…



「からだの性とこころの性(性自認)が一致していない自分はどこがおかしいのではないか」「同性が好きな自分は病気なのではないか」など、自分自身に対する葛藤を一人で抱え込んでいることが多くあります。

例えば…同性愛は病気なの？

病気ではありません。
1990(平成2)年、WHO(世界保健機関)が同性愛を「国際疾病分類(ICD-10)」から削除することを決議し、同性愛は治療の対象ではないと公的に認めました。
その後、1995(平成7)年に、日本精神神経学会も同様の基準を採用しています。

誰にも言えない…いじめられるかも、変に思われるかも

自分のこころの性(性自認)や好きになる性を周囲に打ち明ける(カミングアウトする)ことで、相手との関係が壊れるのではないかと不安を抱えている人がいます。



「ホモなの？」と笑われた…



「ホモ」「レズ」「オネエ」「オカマ」「アブノーマル」「あっち系・そっち系」「あの、レズらしいよ…」など、無意識のうちに差別的な言葉で、誰かを傷つけているかもしれません。

直面する困りごと

性的マイノリティの人は、日々の様々な場面で困りごとを抱えていることが多くあります。

学校で

- ▶男女別の制服やトイレに抵抗を感じる。
- ▶健康診断や体育の時の着替えに不安を感じる。
- ▶宿泊行事への参加に不安を感じる。
- ▶からかひやいじめの対象にならないか不安を感じる。 など



会社等で

- ▶トランスジェンダーに営業はやらせないなどといったハラスメントを受ける。
- ▶婚姻関係に相当するパートナーがいるにもかかわらず、家族を対象とした福利厚生制度が使えない。
- ▶就職活動時、履歴書に記載した性別と見た目が異なることで、選考にマイナスの影響を与えないか不安を感じる。 など



日常生活で

- ▶書類の性別欄の記載に戸惑う。
- ▶住居探しや病院での対応に不自由を感じる。
- ▶自身やパートナーとの日々の生活、将来の介護に不安を感じる。
- ▶周囲から結婚するように言われる。 など



カミングアウトを受けたら

「カミングアウト」とは、本人が自分の意思で、自身の性のあり方を他者に公表することです。

カミングアウトや相談を受けた際の大事なポイントは次のとおりです。

1

「話してくれてありがとう」と伝える
あなたに知ってほしいという思いでカミングアウトをしてくれた場合は、その信頼を受け止め、変わらず良い関係を続けてください。

2

「なにかできることはある？」ときき
困っていることがあり、カミングアウトをしてくれたのかもしれませんが。必要に応じて困りごとに共に対応し、心強い味方でいましょう。

3

勝手に共有をしない
本人の性のあり方が、意図せず同僚、上司、家族などに伝わることで、職場・家庭・地域で安心して過ごせなくなる可能性があります。情報の共有が必要な場合であっても、伝えて良い範囲を必ず本人に確認してください。

※参考：認定特定非営利活動法人ReBit「LGBTと職場について考えるハンドブック～全ての人が豊かに働く職場づくりを目指して～」

本人の想いを大切に！

- ❗ 本人の意に沿わないカミングアウトの強要はやめましょう。
- ❗ 本人の同意なく、性のあり方を他人に暴露すること(いわゆる「アウティング」)はやめましょう。

今日からできること

性のあり方にかかわらず、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる社会を目指すために、今日からできることがたくさんあります。

- ✓ 自分の周りに性的マイノリティの人がいるかもしれないと思って行動する。
- ✓ 「ホモ」「オカマ」「あっち系・そっち系」など、差別的な言葉を使わない。
- ✓ 「いつ結婚するの?」「子どもは何人?」など、誰もが結婚や子育てをすることを前提としない。
- ✓ 性的マイノリティを笑いのネタにしない。
- ✓ 性的マイノリティを笑いのネタにしたリ、差別的な言葉を使っている人がいたら注意する。
- ✓ このリーフレットを友人や職場の人などに紹介する。

一人ひとりに個性があるように、性のあり方も、一人ひとりさまざまです。

お互いの違いを認め合いながら、誰もが自分らしく生きることのできる社会を相模原市は目指しています。